

「ポーの一族」を中心に半世紀の軌跡をたどる原画展



ランプトンは語る (1975)

少女マンガに革新をもたらした萩尾望都さんの代表作「ポーの一族」。バンパネラ（吸血鬼）の一族に加えられ、少年の姿のまま永遠の旅を続ける主人公・エドガーの哀しみを描いたこの作品は、1972年の第1作から多くの読者を魅了してきました。2016年に40年ぶりのシリーズ新作が発表され、2018年には宝塚歌劇団が満を持して舞台化するなど、今なお世代を超えて読み継がれています。

本展ではデビュー50周年を記念し、「ポーの一族」シリーズ最新作や本展のための描き下ろしを含む原画、予告カットなど200点以上を展覧します。さらに宝塚歌劇公演の衣装・小道具も特別展示し、夢のステージを再現します。また「トーマの心臓」をはじめとする名作の数々を紹介するほか、執筆風景やスケッチブックも公開し、他分野にも多大な影響を及ぼした「萩尾望都の世界」の魅力に迫ります。



エヴァンズの遺書 (1975)



ベニー・レイン (1975)



ポーの一族 (1972)

※作品はすべて「ポーの一族」シリーズ © 萩尾望都/小学館



宝塚歌劇「ポーの一族」

©宝塚歌劇団



ユニコン (2018)

展覧会オリジナルグッズ



風呂敷 (復刻デザイン)

本展覧会でしかお買い求めいただくことのできる展覧会オリジナルグッズを多数ご用意いたします。

※デザイン・仕様は変更になる場合がございます。



撮影：横田敦子

萩尾望都 (はぎお・もと)

1949年、福岡県生まれ。1969年「ルとミミ」でデビュー。1972年「ポーの一族」シリーズ連載開始。1976年小学館漫画賞、2006年日本SF大賞、2016年度朝日賞ほか受賞多数。2012年紫綬褒章受章。代表作に「トーマの心臓」「11人いる!」「残酷な神が支配する」「バルバラ異界」など。

www.asahi.com/event/poeten



『ポーの一族展』割引券

一般 1,000円⇒900円
高校生 700円⇒600円
中学生 500円⇒400円

(1枚につき2名様限り・会期中のみ有効)
※表示価格はすべて税込です。